

「こおりやまの米」通信



郡山市
イメージキャラクター
「がくとくん」

編集：郡山市
JA福島さくら郡山地区本部（TEL. 921-0533）
NOSAI福島郡山田村支所（TEL. 933-3307）
県中農林事務所農業振興普及部（TEL. 935-1310）
発行：郡山市農作物生産対策協議会
（郡山市園芸畜産振興課 TEL.924-3761）

Vol. 2 育苗～本田準備

こおりやまの米通信

検索

* 過去の記事は郡山市ホームページから見る事が出来ます。

1 育苗管理 ～生育に併せた温度管理を～

【播種量と苗の生育】

苗の種類毎の播種量、育苗日数は右表のとおりです。

慣行栽培では稚苗～中苗が大部分を占めますが、有機栽培等では成苗の利用がされています。

播種量が多いほど苗が徒長し、老化の時期が早まります。活着不良や除草剤の薬害のリスクが増加しますので、苗の種類に応じた適期移植を心掛けましょう。

【温度管理】

- 第1葉が展開するまでは日中25℃、夜間10～15℃を目標としましょう。
- 第1葉が展開後は日中20℃、夜間10～15℃を目安にトンネルやハウスの開閉をまめに行いましょう。
- 硬化後の苗は出来るだけ外気と日光に当てるようにしますが、高温、過湿、強風や夜間の低温には十分注意しましょう。

【かん水】

- 1日1回、朝にたっぷりとかん水します。万一乾いた場合には、昼頃に追加かん水します。
- 夕方のかん水は、地温を下げ根張りを悪くするので、行わないようにしましょう。

種苗法を遵守しましょう

全国各地で新しい水稻ブランド品種がデビューしていますが、そのほとんどは育成者から許諾を受けた生産者しか生産・販売をすることができません。

「つや姫」、「新之助」、「金色の風」など他県の育成品種の種子は福島県内で正規販売されておらず、これらを生産した場合には損害賠償を求められることがあります。また、故意の場合には懲役（最高10年）や罰金（最高1000万円、法人は最高3億円）が課されることもあります。

苗の種類	播種量 (g/箱)	育苗日数 (日)	草丈 (cm)	葉齢	10a当たり箱数
稚苗	200	20～25	10～13	2.2～2.5	18～20
中苗	100	30～35	13～15	3.0～3.9	30～35
成苗	40～70	30～45	15～18	4.0以上	45～60

※品種はコシヒカリ
※播種量は乾籾重

2 プール育苗 ～成功させるポイント～

- プール育苗の苗は発根量が多く活着の良い苗が得られますが、水の保温により草丈が徒長しやすくなります。以下の点に注意して取り組んでください。
- 置床にごろごろした土塊が無いように丁寧に耕耘し、できる限り水平を保ちましょう。
- 根が苗箱を貫通し易いので箱の内部に根止め用の敷紙を使用しましょう（※新聞紙では根止めできません）。
- ハウス内温度は低めにし、苗が伸びすぎないようにしましょう。
- 緑化が完了し根が育苗箱の底に届き、本葉第2葉が伸びる時期に、培土よりも下まで入水します（培土や苗が水で覆われないよう注意）。
- その後、プールの底が出たら水を追加し、苗の生育に応じて、最終的な水深は、培土が覆われる程度までに行います。

春の農作業安全確認運動実施中！

～まずはワンチェック・ワンアクションで農作業安全～

- 家族で「声かけ（注意喚起）」しながら事故防止意識を高めましょう！
- 作業が忙しくなる前に、危険箇所のチェックをしておきましょう。
- GAP（農業生産工程管理）の実践は農作業事故防止にも有効です！



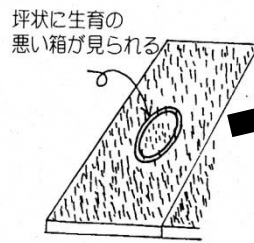
～郡山市は「セーフコミュニティ国際認証」を取得しています～

3 育苗中の病気 ～マメな温度管理が予防のポイント～

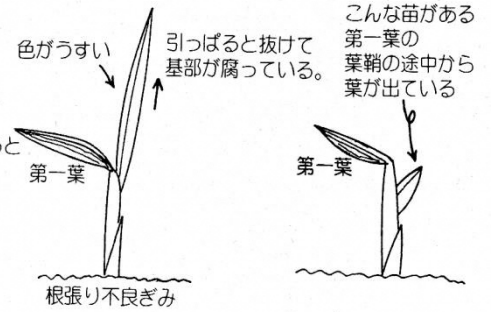
【もみ枯細菌病】

- 症状: 1.5～2葉期に急に症状が現れます。坪状に枯れ、第2葉を引っ張ると簡単に抜けます。新葉の付け根が白くなることも多く見られます。放置すると症状が広がっていきます。
- 原因: 病原菌は種子、空气中、器具等に存在します。通常の間度では発病しませんが、催芽、出芽時の高温で繁殖し、感染します。

症状 (1葉期を過ぎた頃)



◎を拡大すると



- 防除: もみ枯細菌病を予防するための種もみ消毒を行っていない場合、播種後覆土前にカスミン粒剤を1箱当たり20g種籾の上から均一に散布する方法があります。もみ枯細菌病が発生してしまったら農薬では対処できません。

健全な育苗箱への感染源ともなるので、罹病した育苗箱は直ちに育苗ハウス外へ運び出し、廃棄してください。

【苗立枯病】

- 苗立枯病が発生したら、右記の薬剤を使用し防除を行ってください。
- 発生が著しい育苗箱は移植時の障害となるため使用を控え処分してください。



播種後に使用できる農薬

病原菌	症状	ダコニール	ダコレート	タチガレエース
		1000*1	水和剤*1	M液剤*2
リゾプス	白いカビ	○	○	
フザリウム	白～ピンクのカビ		○	○
ピシウム	ドーナツ状に枯れる カビは見えない			○
トリコデルマ	白～青緑のカビ		○	

※1: 播種時～緑化期(但し、播種14日後まで)

※2: 播種時又は発芽後

4 本田準備 ～今年の出来はここで決まる！～

- 濁水や稲わら等の河川や湖沼への流入防止のため、「浅水代かき」を行いましょ。
- ロータリー耕を続けると作土が浅くなりがちです。耕深は15cm以上を確保しましょ。
- ※作土が浅くなると・・・
 - ・根域が狭く、根の生育が阻害される
 - ・地温や中干し以降の水分の環境変化を受けやすくなる
 - ・肥料が生育初期に吸収されてしまい栄養凋落となる
 - ・稲わらが表層に集まり、還元障害の原因となる

- ケイカリンアップ、ベストソイルなどの土づくり資材を積極的に使用し、リン酸・ケイ酸・鉄・苦土を補給することで、倒伏しにくく食味の良い米づくりに取り組みましょ。

玄米600kgを生産するために、イネは約120kgのケイ酸を吸収します。ケイ酸の多くは灌漑水から供給されるため、ケイカルなら100kg/10a程度散布すると良いでしょ。

- 畦畔をしっかり作って漏水を防止し、除草剤の効果を高めるとともに、低温時の深水管理に備えましょ。

漏水田対策としてトラクタの踏圧による床締め、及び畦畔部へのベントナイト施用が有効です。ベントナイトは水分を含むと膨らむ粘土鉱物で、漏水防止効果が高い資材です。漏水田では畦畔沿いに1m当たり2.5kg程度を散布してから畦塗りを行いましょ。

放射性物質吸収抑制のための塩化カリ散布は、効果を最大に発揮させるためにも、基肥で施用しましょ！

